

トラック運送業界の現状

- トラック運送事業者のほとんどが中小事業者であり、荷主に比べ立場が弱く、手待ち時間の負担を押しつけられている、また、適正な運賃収受がなされていないといった課題がある。
- その結果、トラックドライバーの労働環境は、長時間労働であり、かつ給料も低い状況にあるため、ドライバー不足が懸念される。

現 状

■ 貨物輸送量の比較(単位:十億トンキロ)



■ 保有車両台数別のトラック運送事業者構成



課 題

■ 運送原価を無視した受注の有無



全日本トラック協会「トラック輸送の実態に関する調査報告書」(H23)から作成

■ 配達時における手待ち時間の状況

- 配達時に1時間以上の手待ち時間がある割合 : 24.5%
- 集荷時に1時間以上の手待ち時間がある割合 : 7.4%
- 配送センターでの1時間以上の手待ち時間がある割合 : 45.2%

路線連盟「荷主優先実態調査」(H26)から作成

■ トラック業界の労働環境

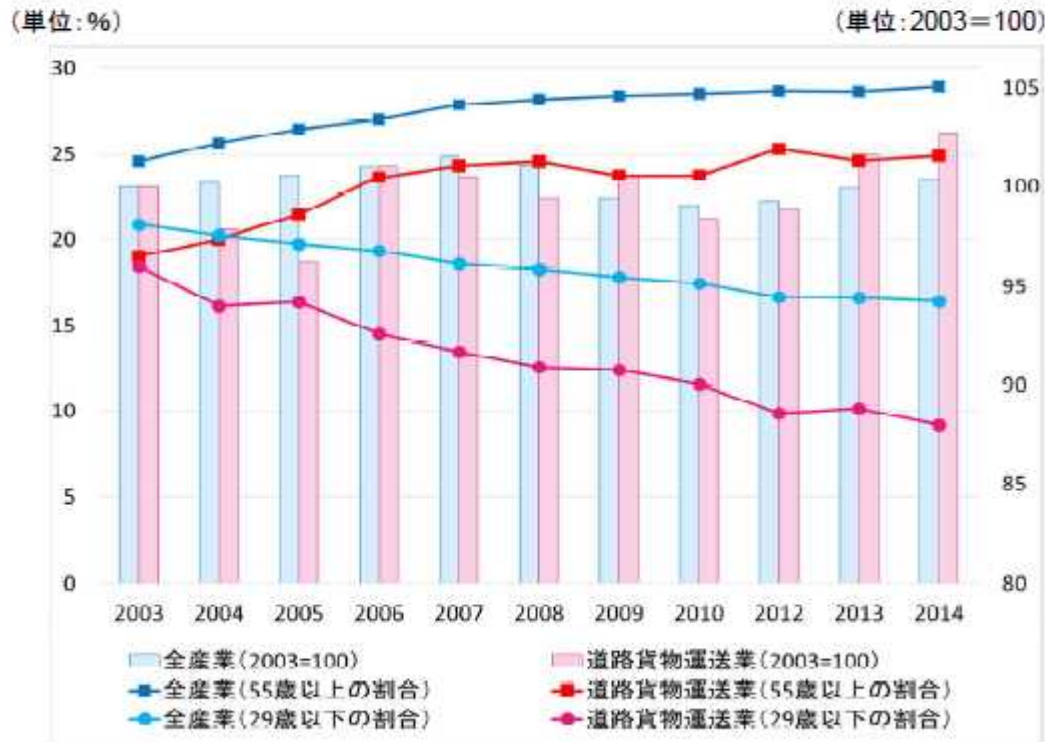
	道路貨物運送業 (大型)	道路貨物運送業 (中小型)	全産業
所得額	422 万円	375 万円	480 万円
労働時間	2592 時間	2580 時間	2124 時間
平均年齢	46.5 歳	44.7 歳	42.1 歳

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(H26)から作成

トラックドライバーの年齢構成の推移と女性の進出状況

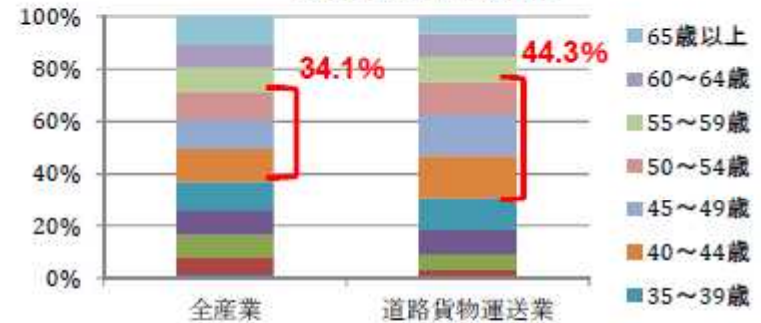
- 道路貨物運送業就業者数は、2003年以降増減しつつも、概ね180万人超で推移。
 - 道路貨物運送業就業者の全体に占める高年齢就業者の割合は、全産業平均に比べると低い一方、全産業平均に比べ、若手就業者の割合が低く、その差は拡大傾向。
 - 道路貨物運送業就業者のうち、40代～50代前半の中年層の占める割合が、全産業平均に比べて非常に高い。
 - 全産業平均に比べて、道路貨物運送業では就業者に占める女性の割合が非常に低い。
- ➡ 中長期的に、高年齢就業者の割合が急速に高まる一方、若手・中堅層が極端に少ないといった**年齢構成の歪み**が顕著になる懸念

【就業者数と年齢構成の推移】

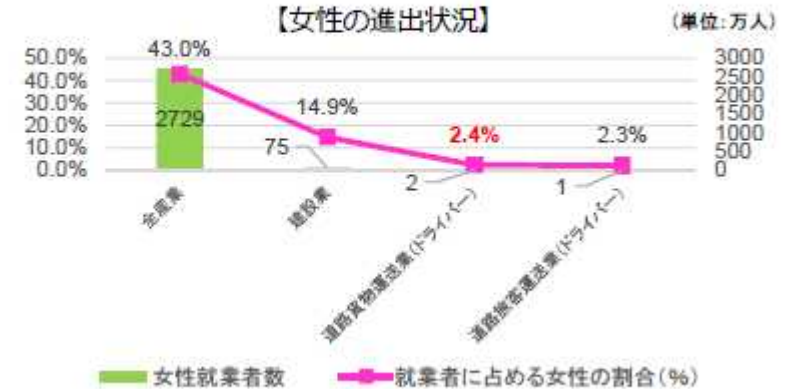


総務省「労働力調査」から作成

【就業者の年齢構成比】



【女性の進出状況】



総務省「労働力調査」(平成26年)から作成